

2025年度 決算報告



2026年5月13日
日本ゼオン株式会社

P.2 総括

※以降、シクロオレフィンポリマーはCOPと記載します。

P.7 事業環境（為替・主原料推移）

P.8 業績サマリー

P.9 セグメント別業績

P.14 高機能材料 P/L

P.15 高機能材料 セグメント別概況

P.16 高機能樹脂事業 : COPの状況

P.17 高機能樹脂事業 : 光学フィルムの状況

P.18 高機能バインダー材料事業 : 電池材料の状況

P.19 高機能ケミカル事業 : 化学品・電子材料の状況

P.21 エラストマー素材 P/L

P.22 エラストマー素材 セグメント別概況

P.24 B/S概要

P.25 C/F概要

P.27 株主還元予想

2025年度 連結実績

ROE **9.9%**

売上高
4,120億円
YoY▲2%

営業利益
364億円
YoY+24%

経常利益
400億円
YoY+21%

親会社株主に帰属
する当期純利益
362億円
YoY+38%

【増減の主な要因】

- ▶ **売上高**
 - 高機能材料 : 光学フィルム、電池材料の出荷増によりYoY+2%
 - エラストマー素材 : **主原料価格下落に伴う販売価格改定によりYoY▲5%**
- ▶ **営業利益**
 - 高機能材料 : 光学フィルム、電池材料の出荷増による稼働率向上と固定費削減でYoY+28%
 - エラストマー素材 : 固定費削減でYoY+7%
- ▶ **経常利益**
 - 営業利益増に加え、期末にかけて為替差益が発生し増加
- ▶ **当期純利益**
 - 経常利益増に加え、投資有価証券売却益が増加

2025年度 株主還元

配当額

76円/年

自己株式の取得
2025年度

1,000万株/100億円

- ▶ **配当金**
DOE4%以上の方針に基づき、2025年度の期末配当を4円増配し年間76円に修正
- ▶ **自己株式の取得**
1,000万株/100億円を上限に実施完了

【成長ドライバ】

COP新プラント建設

- 工事進捗：遅れなし
- 竣工時期：変更なし（2028年度上期）

【成長ドライバ】

COP等の原料を抽出した残C5留分から、高純度DCPD(*1)を再抽出する設備

- 生産能力：現行比最大2割程度の増強
- 目的：
 - ・COPおよび光学フィルム向けの原料であるジシクロペンタジエンを安定的に確保
 - ・CO2排出量の削減
- 完工見込：2028年9月

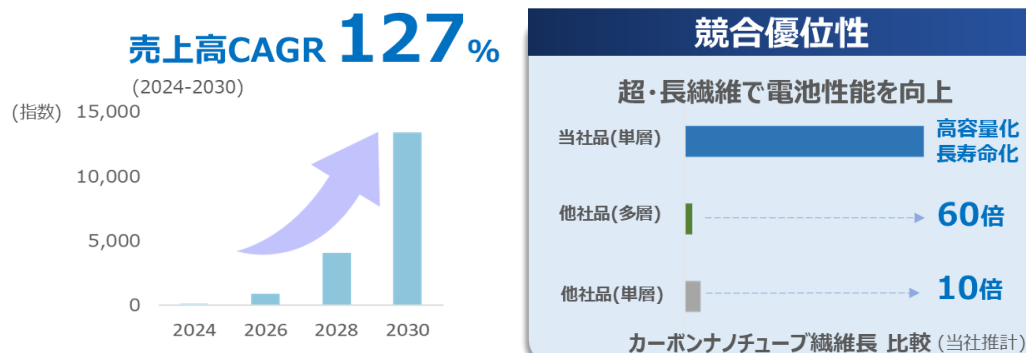
(*1)DCPD=ジシクロペンタジエン
COPのほかRIM配合液などの高収益製品の原料

【次期成長ドライバ】

単層カーボンナノチューブの能力増強設備

- 生産能力：現行比数十倍の能力増強
- 目的：EV、ドローン、eVTOL等の民生用途や、AIサーバーBBU、定置型ESS、ロボティクス等の産業分野向けに拡大する電池需要に対応
- 稼働開始見込：2028年内

なお、本件は経済産業省から「蓄電池に係る供給確保計画」として認定されています



2025.6.11 中計説明資料から抜粋

2026年度 通期業績予想

売上高

4,050億円
YoY▲2%

営業利益

380億円
YoY+5%

経常利益

370億円
YoY▲8%

親会社株主に帰属
する当期純利益

360億円
YoY▲1%

▶ 通期業績予想の前提

- ・ホルムズ海峡封鎖による影響は含まず
- ・US\$=150円、€=175円、国産ナフサ/KL=¥63,000、アジアブタジエン/MT=US\$950

▶ Q1の操業状況

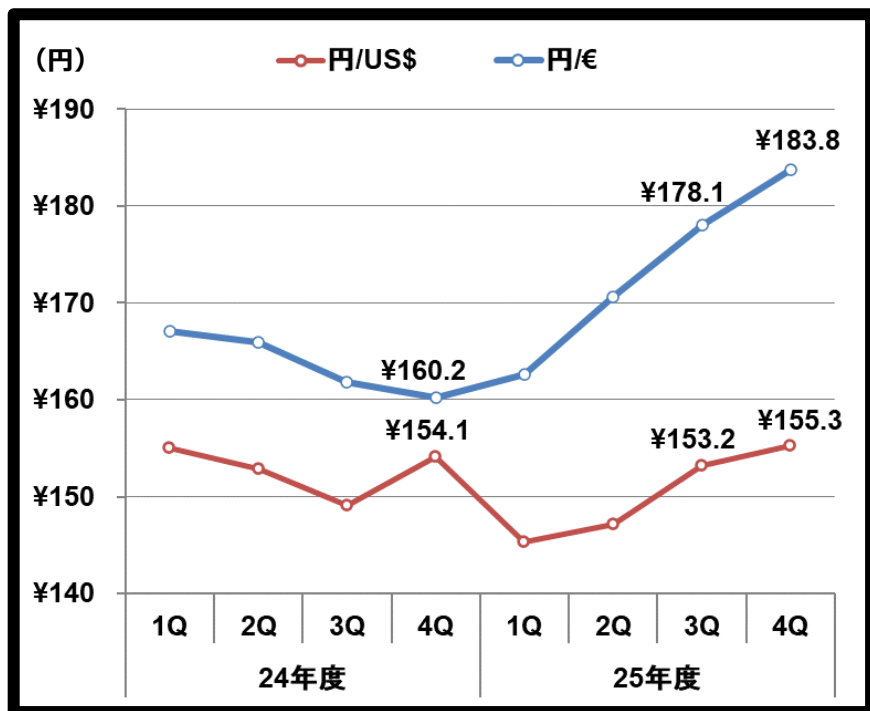
合成ゴムは原料調達見合いの操業が続くが、概ね定常操業可能と見込む

▶ 想定される不確実性と対応策

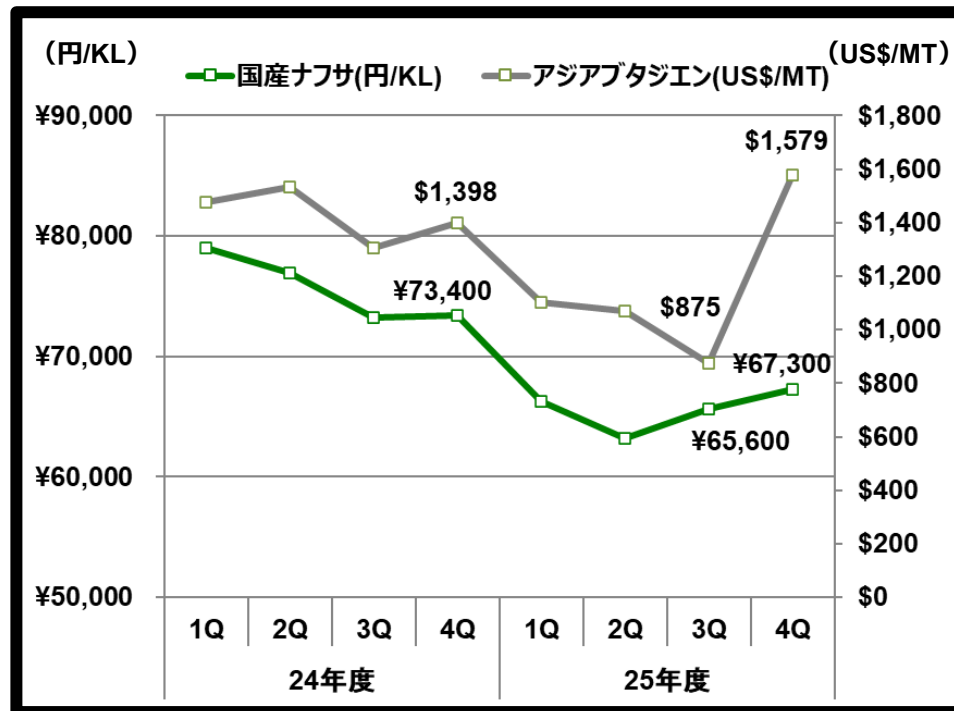
項目	想定される不確実性	対応策	価格改定の状況 (プレスリリース)
調達	原料価格およびユーティリティコストの高止まり	<ul style="list-style-type: none"> ・固定費悪化を含むコスト増分をサーチャージ方式で市場へ転嫁、四半期単位では影響を受けるおそれはあるが、年単位では吸収 ・お客様とのコミュニケーション強化により、製品在庫は可能な限り削減 	<ul style="list-style-type: none"> ・3/2 合成ラテックス ・3/27 化成品 ・3/31 合成香料 ・3/31 半導体・医療向け特殊溶剤 ・4/21 合成ゴム ・5/7 COPおよび光学フィルム
生産	原料調達量見合いの操業による固定費悪化		
出荷	お客様の買い控えまたは稼働減		

P.2	総括	
P.7	事業環境（為替・主原料推移）	
P.8	業績サマリー	
P.9	セグメント別業績	
P.14	高機能材料	P/L
P.15	高機能材料	セグメント別概況
P.16	高機能樹脂事業	: COPの状況
P.17	高機能樹脂事業	: 光学フィルムの状況
P.18	高機能バインダー材料事業	: 電池材料の状況
P.19	高機能ケミカル事業	: 化学品・電子材料の状況
P.21	エラストマー素材	P/L
P.22	エラストマー素材	セグメント別概況
P.24	B/S概要	
P.25	C/F概要	
P.27	株主還元予想	

【為替推移】



【主原料推移】



		2024年度	2025年度	YoY 変化率
為替	円/US\$	¥152.8	¥150.2	▲2%
	円/€	¥163.8	¥173.8	+6%
主原料	国産ナフサ/KL	¥75,625	¥65,600	▲13%
	アジアブタジエン/MT	\$1,429	\$1,157	▲19%

※為替：月次レートの平均値、国産ナフサ：2024年度は確報値、2025年度は当社見込値

（単位：億円）

	前年同期	前期	今期	対前年同期	対前期	2024年度	2025年度	対前年度
	2024年度 Q4	2025年度 Q3	2025年度 Q4	YoY 増減	QoQ 増減	Q4累計	Q4累計	YoY 増減
売上高	1,052	1,032	1,023	▲ 30	▲ 10	4,206	4,120	▲ 87
営業利益	51	82	88	+36	+5	293	364	+71
経常利益	57	108	101	+44	▲ 8	331	400	+70
当期純利益	61	60	79	+18	+19	262	362	+100

- 前年同期比 : 売上高 ▲30億円、営業利益 +36億円
- 前期比 : 売上高 ▲10億円、営業利益 +5億円
- 前年度比 : 売上高 ▲87億円、営業利益 +71億円

*海外関係会社の2025年10～12月実績がQ4連結決算に反映されています。
2025年度より Zeon Korea Co., Ltd. が連結対象となりました。

2025年度 セグメント別業績（対四半期比較）

（単位：億円）

【売上高】	前年同期	前期	今期	対前年同期	対前期
	2024年度 Q4	2025年度 Q3	2025年度 Q4	YoY 増減	QoQ 増減
高機能材料	315	315	304	▲11	▲12
エラストマー素材	581	554	557	▲24	+3
その他の事業、消去等	156	163	162	+6	▲1
売上高合計	1,052	1,032	1,023	▲30	▲10

【営業利益】	前年同期	前期	今期	対前年同期	対前期
	2024年度 Q4	2025年度 Q3	2025年度 Q4	YoY 増減	QoQ 増減
高機能材料	31	48	59	+28	+10
エラストマー素材	20	29	22	+3	▲7
その他の事業、消去等	1	5	7	+6	+2
営業利益合計	51	82	88	+36	+5

2025年度 セグメント別業績（対年度比較）

（単位：億円）

【売上高】	2024年度	2025年度	対前年度 YoY 増減
	高機能材料	1,216	1,242
エラストマー素材	2,366	2,237	▲ 129
その他の事業、消去等	625	641	+16
売上高合計	4,206	4,120	▲ 87

【営業利益】	2024年度	2025年度	対前年度 YoY 増減
	高機能材料	176	224
エラストマー素材	109	117	+7
その他の事業、消去等	8	23	+15
営業利益合計	293	364	+71

2025年度 セグメント別業績（対業績予想比較）

（単位：億円）

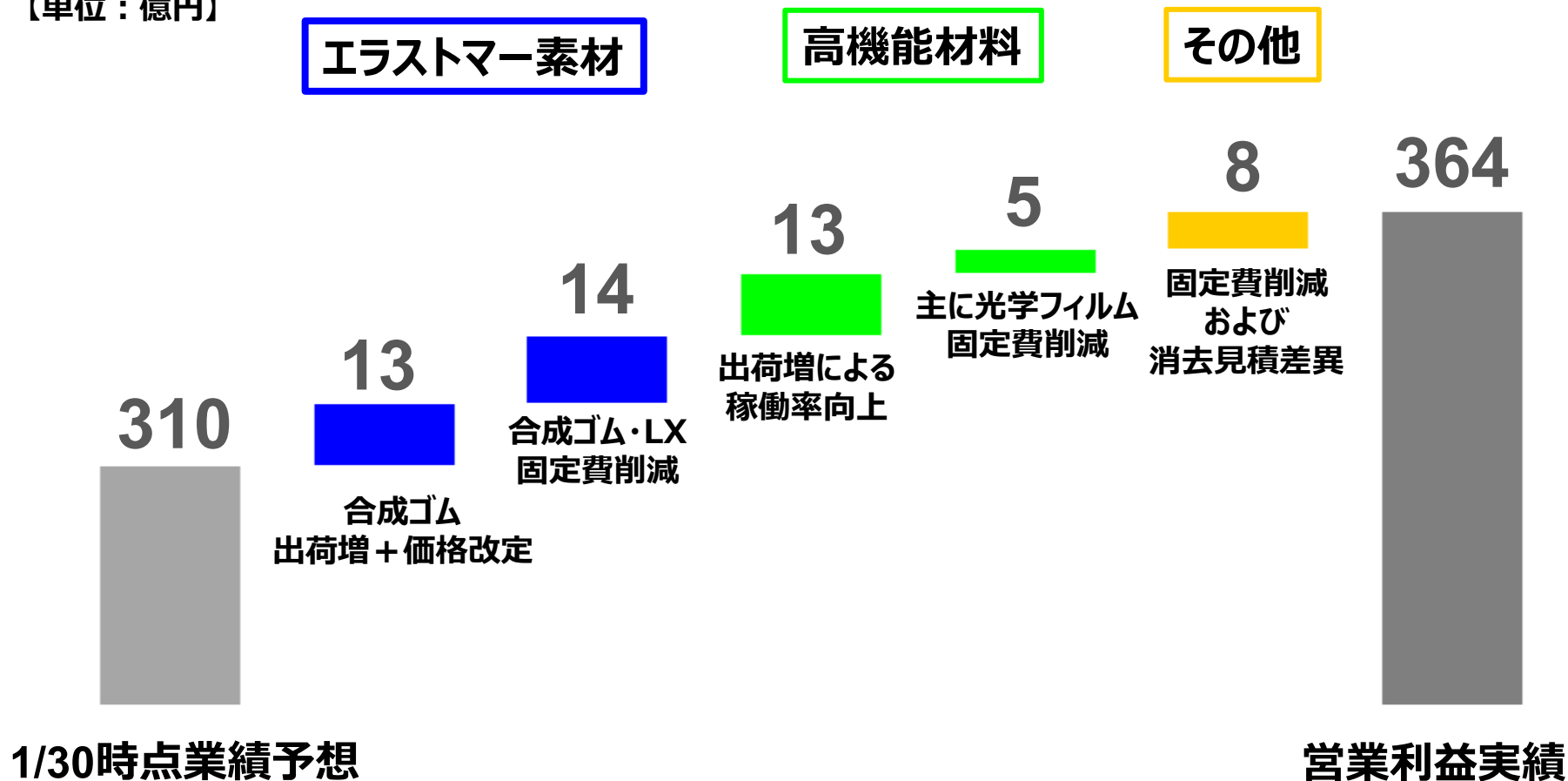
【売上高】	2025年度 業績予想 (1/30時点)	2025年度	対業績 予想比	対業績 予想比率
高機能材料	1,240	1,242	+2	0%
エラストマー素材	2,195	2,237	+42	2%
その他の事業、消去等	640	641	+1	0%
売上高合計	4,075	4,120	+45	1%

【営業利益】	2025年度 業績予想 (1/30時点)	2025年度	対業績 予想比	対業績 予想比率
高機能材料	205	224	+19	9%
エラストマー素材	90	117	+27	30%
その他の事業、消去等	15	23	+8	53%
営業利益合計	310	364	+54	17%

- ・高機能材料 : 光学フィルムをはじめ、出荷増による稼働率向上と固定費削減で営業利益は上方で着地
- ・エラストマー素材 : 合成ゴムの原料価格上昇に伴う販売価格改定と固定費削減で営業利益は上方で着地

2025年度 セグメント別業績（営業利益対業績予想比較） ZEON

【単位：億円】



1/30時点と比べて合成ゴムの売上高は27億円増加、高機能材料は軒並み出荷が上振れ

P.2	総括	
P.7	事業環境（為替・主原料推移）	
P.8	業績サマリー	
P.9	セグメント別業績	
P.14	高機能材料	P/L
P.15	高機能材料	セグメント別概況
P.16	高機能樹脂事業	: COPの状況
P.17	高機能樹脂事業	: 光学フィルムの状況
P.18	高機能バインダー材料事業	: 電池材料の状況
P.19	高機能ケミカル事業	: 化学品・電子材料の状況
P.21	エラストマー素材	P/L
P.22	エラストマー素材	セグメント別概況
P.24	B/S概要	
P.25	C/F概要	
P.27	株主還元予想	

(単位：億円)

	2024年度 Q4	2025年度 Q3	2025年度 Q4	YoY 増減	YoY 増減率	QoQ 増減	QoQ 増減率
売上高	315	315	304	▲ 11	▲ 4 %	▲ 12	▲ 4 %
高機能樹脂	201	213	190	▲ 10	▲ 5 %	▲ 23	▲ 11 %
高機能バインダー材料	65	58	63	▲ 2	▲ 3 %	5	8 %
高機能ケミカル	40	37	44	4	11 %	7	18 %
メディカル他	10	7	7	▲ 3	▲ 33 %	▲ 0	▲ 5 %
営業利益	31	48	59	28	91 %	10	22 %
高機能樹脂	27	37	43	17	64 %	6	16 %
高機能バインダー材料	4	8	12	8	183 %	4	49 %
高機能ケミカル	2	7	8	7	420 %	2	25 %
メディカル他	▲ 2	▲ 4	▲ 5	▲ 4	- %	▲ 1	- %
営業利益率	10%	15%	19%				

サブセグメント区分

- 高機能樹脂 : COP、光学フィルム
- 高機能バインダー材料 : 電池材料、トナー
- 高機能ケミカル : 化学品、電子材料

高機能材料

売上高 **304** 億円 (YoY▲4%)

営業利益 **59** 億円 (YoY+91%)

高機能樹脂

売上高 **190** 億円 (YoY▲5%)

営業利益 **43** 億円 (YoY+64%)

- ・COP、光学フィルムともに出荷は堅調
- ・海外関連会社の中国春節前調整影響等で減収
- ・前年同期に生産不具合による損失が発生していたためYoY営業利益は増加

高機能 バインダー材料

売上高 **63** 億円 (YoY▲3%)

営業利益 **12** 億円 (YoY+183%)

トナーが一時的な調整局面に入ったため減収も、電池材料の出荷増による稼働率向上で増益

高機能ケミカル

売上高 **44** 億円 (YoY+11%)

営業利益 **8** 億円 (YoY+420%)

半導体向け特殊溶剤、エッチングガスの出荷増および棚卸資産関連費用等の減少により増収増益

		YoY	QoQ	YoY累計 (年間)
当社製品の 出荷動向	光学用途向け	↗	→	↘
	医療その他向け	↗	↗	↗
	半導体用途向け	↗	↗	↗

- 光学用途向け
スマホレンズ向けはQ4に需要の変化はなし、年間で市況が低調
- 医療その他向け
総じて需要は堅調
- 半導体用途向け
予定通りにQ4にまとめ出荷を実施、中国・台湾のFAB建設に伴う需要が増加

		YoY	QoQ	YoY累計 (年間)
当社製品の 出荷動向	中小型向け	↗	→	→
	大型向け	↗	→	↗

■ 中小型向け

タブレット向け、スマホ向けともに需要は堅調、QoQは変化なし
 米国関税前の前倒しにより24/Q4は需要が落ちず、25/Q4も需要は堅調で推移し、
 YoYおよびYoY累計は前年度並みで着地

■ 大型向け

大型TV向けシェア拡大により、総じて需要は堅調

		YoY	QoQ	YoY累計 (年間)
当社製品の 出荷動向	EV向け	↓	↗	↓
	ESS・民生他向け	↗	→	↗

■ EV向け

中国および欧州のEV需要が回復しQoQは出荷増となるも、YoYでは減速

■ ESS・民生他向け

中国春節影響を受けるもAIデータセンター向けESSを中心に出荷堅調を維持、モバイル端末向けも堅調

		YoY	QoQ	YoY累計 (年間)
当社製品の 出荷動向	半導体・医療向け	↑	↓	↑
	合成香料向け	↑	↑	↓

■ 半導体・医療向け

旺盛な AI 関連投資を背景にメモリーやロジック製品の需要は堅調、Q3まとめ出荷によりQ4は一時調整したが、26年度以降も需要は堅調

■ 合成香料向け

Q4にまとめて出荷するも、合成香料市場の需給緩和状態は長期化、市況はしばらく低迷

P.2	総括	
P.7	事業環境（為替・主原料推移）	
P.8	業績サマリー	
P.9	セグメント別業績	
P.14	高機能材料	P/L
P.15	高機能材料	セグメント別概況
P.16	高機能樹脂事業	: COPの状況
P.17	高機能樹脂事業	: 光学フィルムの状況
P.18	高機能バインダー材料事業	: 電池材料の状況
P.19	高機能ケミカル事業	: 化学品・電子材料の状況
P.21	エラストマー素材	P/L
P.22	エラストマー素材	セグメント別概況
P.24	B/S概要	
P.25	C/F概要	
P.27	株主還元予想	

(単位：億円)

	2024年度 Q4	2025年度 Q3	2025年度 Q4	YoY 増減	YoY 増減率	QoQ 増減	QoQ 増減率
出荷量 (24/Q4=100)	100	92	92	▲ 8 pt	▲ 8 %	▲ 0 pt	▲ 0 %
合成ゴム	100	97	93	▲ 7 pt	▲ 7 %	▲ 4 pt	▲ 4 %
ラテックス	100	74	75	▲ 25 pt	▲ 25 %	1 pt	1 %
化成品	100	88	99	▲ 1 pt	▲ 1 %	11 pt	12 %
売上高	581	554	557	▲ 24	▲ 4 %	3	0 %
合成ゴム	427	431	427	1	0 %	▲ 4	▲ 1 %
ラテックス	32	24	25	▲ 6	▲ 20 %	1	5 %
化成品	105	87	93	▲ 13	▲ 12 %	6	6 %
その他・消去	17	12	12	▲ 5	▲ 32 %	▲ 0	▲ 1 %
営業利益	20	29	22	3	13 %	▲ 7	▲ 24 %
営業利益率	3%	5%	4%				

エラストマー素材

売上高 **557** 億円 (YoY▲4%)

営業利益 **22** 億円 (YoY+13%)

合成ゴム

売上高 **427** 億円 (YoY+0%)

原料価格下落に伴い販売価格も下落したが、特殊ゴム堅調および円安により売上高は横ばい

合成ラテックス

売上高 **25** 億円 (YoY▲20%)

徳山工場でのNBRラテックス生産を前倒して3月末に停止、固定費約5億円を削減
(25年度実績に反映)

化成品

売上高 **93** 億円 (YoY▲12%)

粘着テープ・ラベル向けの需要低調により減収となるも、原料価格の下落により増益

P.2	総括	
P.7	事業環境（為替・主原料推移）	
P.8	業績サマリー	
P.9	セグメント別業績	
P.14	高機能材料	P/L
P.15	高機能材料	セグメント別概況
P.16	高機能樹脂事業	: COPの状況
P.17	高機能樹脂事業	: 光学フィルムの状況
P.18	高機能バインダー材料事業	: 電池材料の状況
P.19	高機能ケミカル事業	: 化学品・電子材料の状況
P.21	エラストマー素材	P/L
P.22	エラストマー素材	セグメント別概況
P.24	B/S概要	
P.25	C/F概要	
P.27	株主還元予想	

(単位：億円)

総資産5,482億円 (+145)

【流動資産】 ▲406億円
 ◆現預金 +13億円
 ◆売掛債権 ▲188億円
 ◆未収入金 ▲64億円
 ◆棚卸資産 ▲173億円

流動資産
2,575
(▲406)

固定資産
2,907
(+550)

【固定資産】 +550億円
 ◆有形固定資産 +504億円
 ◆投資有価証券 +25億円

流動負債
1,442
(▲78)

固定負債 257 (+20)

純資産
3,783
(+203)

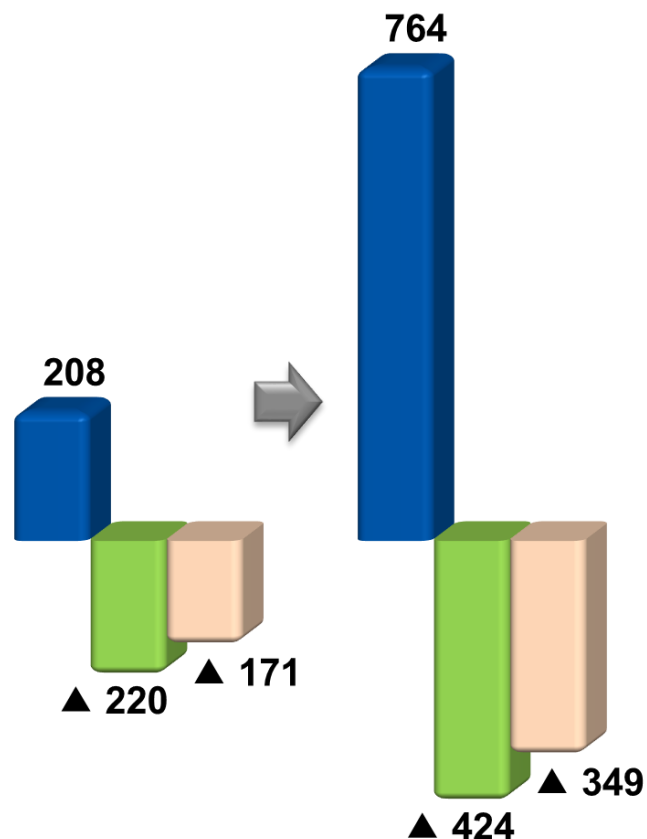
【流動負債】 ▲78億円
 ◆買入債務 ▲102億円
 ◆商業紙幣 ▲100億円
 ◆未払金等 +125億円

【純資産】 +203億円
 ◆自己資本比率 68.9% (+1.9)
 ◆D/Eレシオ 0.04 (▲0.03)

(単位：億円)

2024年度Q4

2025年度Q4



■ 営業CF ■ 投資CF ■ 財務CF

(単位：億円)

	2024年度Q4	2025年度Q4
営業CF	208	764
投資CF	▲ 220	▲ 424
フリーCF	▲ 12	340
財務CF	▲ 171	▲ 349
CF	▲ 183	▲ 9

【営業CF】	+557億円
◆ 税前提利益	+164億円
◆ 税金	+69億円
◆ 減価償却費	▲ 22億円
◆ 運転資金	+561億円
◆ 引当金	▲ 32億円
◆ 投資有価証券売却益	▲ 90億円
◆ その他	▲ 93億円

【財務CF】	▲ 178億円
◆ 資金調達	▲ 270億円
◆ 配当金	▲ 13億円
◆ 自己株式取得	+100億円
◆ その他	+5億円

P.2	総括	
P.7	事業環境（為替・主原料推移）	
P.8	業績サマリー	
P.9	セグメント別業績	
P.13	高機能材料	P/L
P.14	高機能材料	セグメント別概況
P.15	高機能樹脂事業	: COPの状況
P.16	高機能樹脂事業	: 光学フィルムの状況
P.17	高機能バインダー材料事業	: 電池材料の状況
P.18	高機能ケミカル事業	: 化学品・電子材料の状況
P.20	エラストマー素材	P/L
P.21	エラストマー素材	セグメント別概況
P.23	B/S概要	
P.24	C/F概要	
P.27	株主還元予想	

株主還元方針

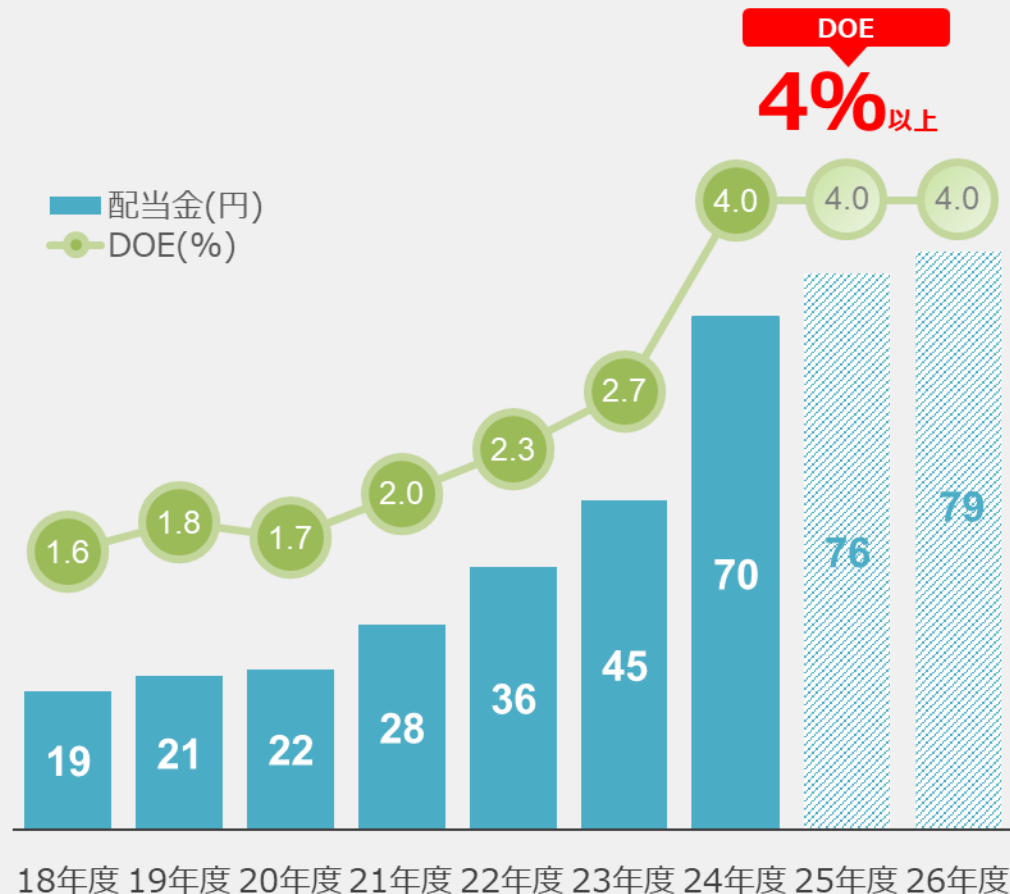
① 配当のKPIとしてDOEを採用し、
DOE4%以上とする

② 自己株式取得（計画）

24年度-26年度

400億円

- 2024年度 200億円（完了）
- 2025年度 100億円（完了）
- 2026年度 100億円（予定）



- 配当金はDOE4%以上の方針に基づき、2026年度年間79円を予想(YoY+3円)
- 年間配当額は2010年度から17期連続増配予想
- 2026年度自己株式の取得は時期を精査のうえ実施予定

本資料に掲載されている当社の計画や見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる結果になる場合があります。

中期経営計画 説明会	2026年6月10日を予定
2026年度 Q1決算発表	2026年7月29日を予定

※上記の予定は、都合により予告なく変更する場合がございます

以 上

統合報告書2025年度版
を発行しました
[こちら](#)

参考：2026年度 セグメント別業績予想

(単位：億円)

【売上高】	2025年度	2026年度 業績予想	年間 差異
高機能材料	1,242	1,250	+8
エラストマー素材	2,237	2,195	▲ 42
その他の事業、消去等	641	605	▲ 36
売上高合計	4,120	4,050	▲ 70

【営業利益】	2025年度	2026年度 業績予想	年間 差異
高機能材料	224	280	+56
エラストマー素材	117	85	▲ 32
その他の事業、消去等	23	15	▲ 8
営業利益合計	364	380	+16

- ・ホルムズ海峡封鎖による影響を含まないベースケース
- ・業績予想前提：US\$=150円、€=175円、国産ナフサ/KL=¥63,000、アジアブタジエン/MT=US\$950
- ・営業利益への為替影響（年間）は、1円/US\$：約3億円、1円/€：約1億円、円安により増加

(単位：億円)

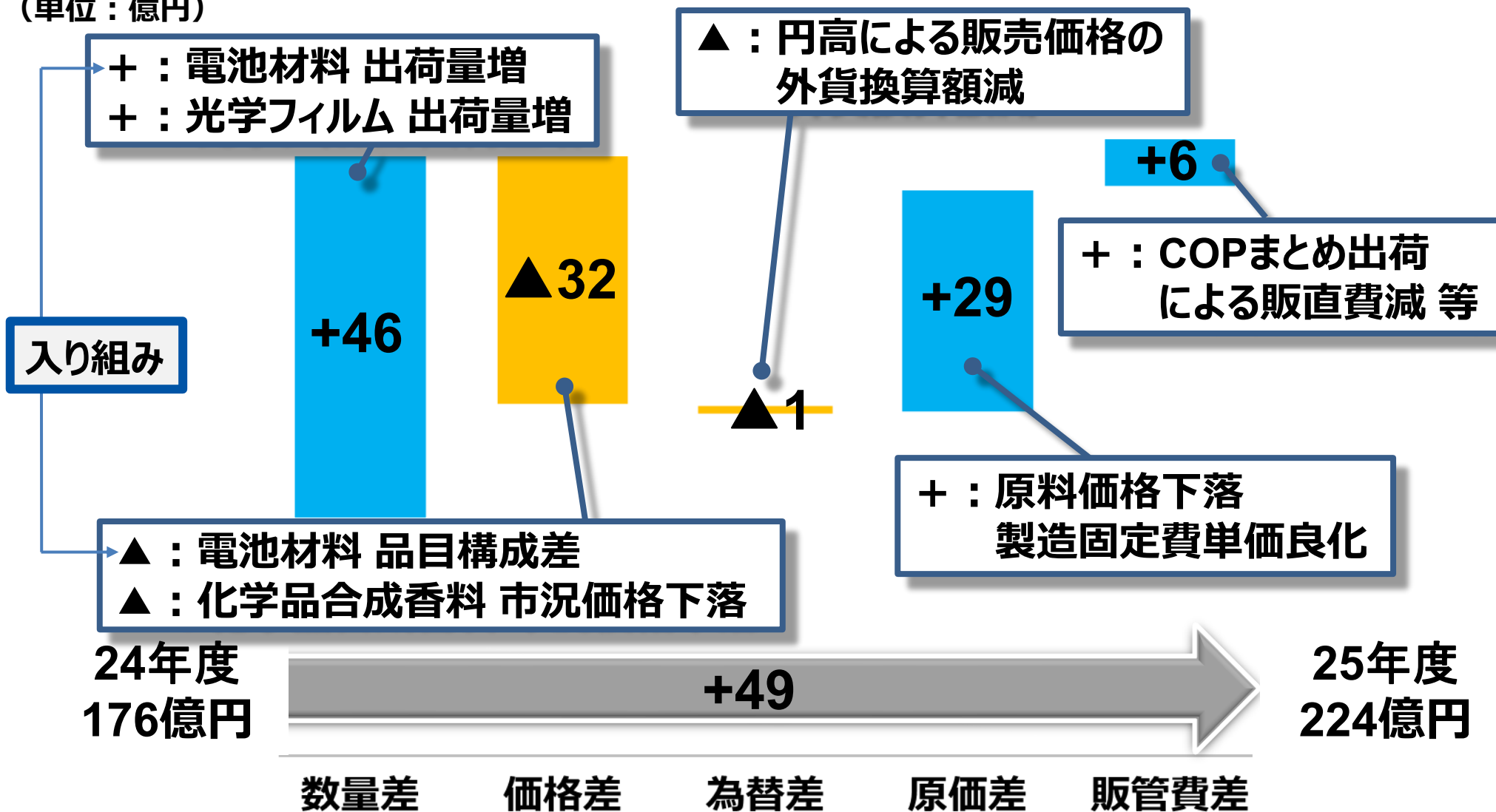
	2023年度	2024年度	2025年度	2025年度	2025年度	2025年度	2025年度
			Q1	Q2	Q3	Q4	年間
売上高	3,823	4,206	1,031	1,034	1,032	1,023	4,120
高機能材料事業	1,074	1,216	293	330	315	304	1,242
高機能樹脂	642	793	197	231	213	190	831
高機能バインダー材料	234	225	53	63	58	63	237
高機能ケミカル	156	158	33	32	37	44	146
メディカル他	43	39	10	4	7	7	28
エラストマー素材事業	2,153	2,366	581	545	554	557	2,237
合成ゴム	1,642	1,769	445	424	431	427	1,727
ラテックス	109	142	35	27	24	25	111
化成品	350	403	90	86	87	93	355
その他・消去	52	52	12	8	12	12	43
その他の事業、消去等	596	625	157	159	163	162	641

	2023年度	2024年度	2025年度	2025年度	2025年度	2025年度	2025年度
			Q1	Q2	Q3	Q4	年間
営業利益	205	293	121	72	82	88	364
高機能材料事業	132	176	74	43	48	59	224
高機能樹脂	73	139	55	39	37	43	175
高機能バインダー材料	44	22	10	12	8	12	42
高機能ケミカル	21	19	8	▲ 1	7	8	22
メディカル他	▲ 5	▲ 4	1	▲ 6	▲ 4	▲ 5	▲ 15
エラストマー素材事業	66	109	42	23	29	22	117

その他の事業、消去等	6	8	5	6	5	7	23
-------------------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	-----------

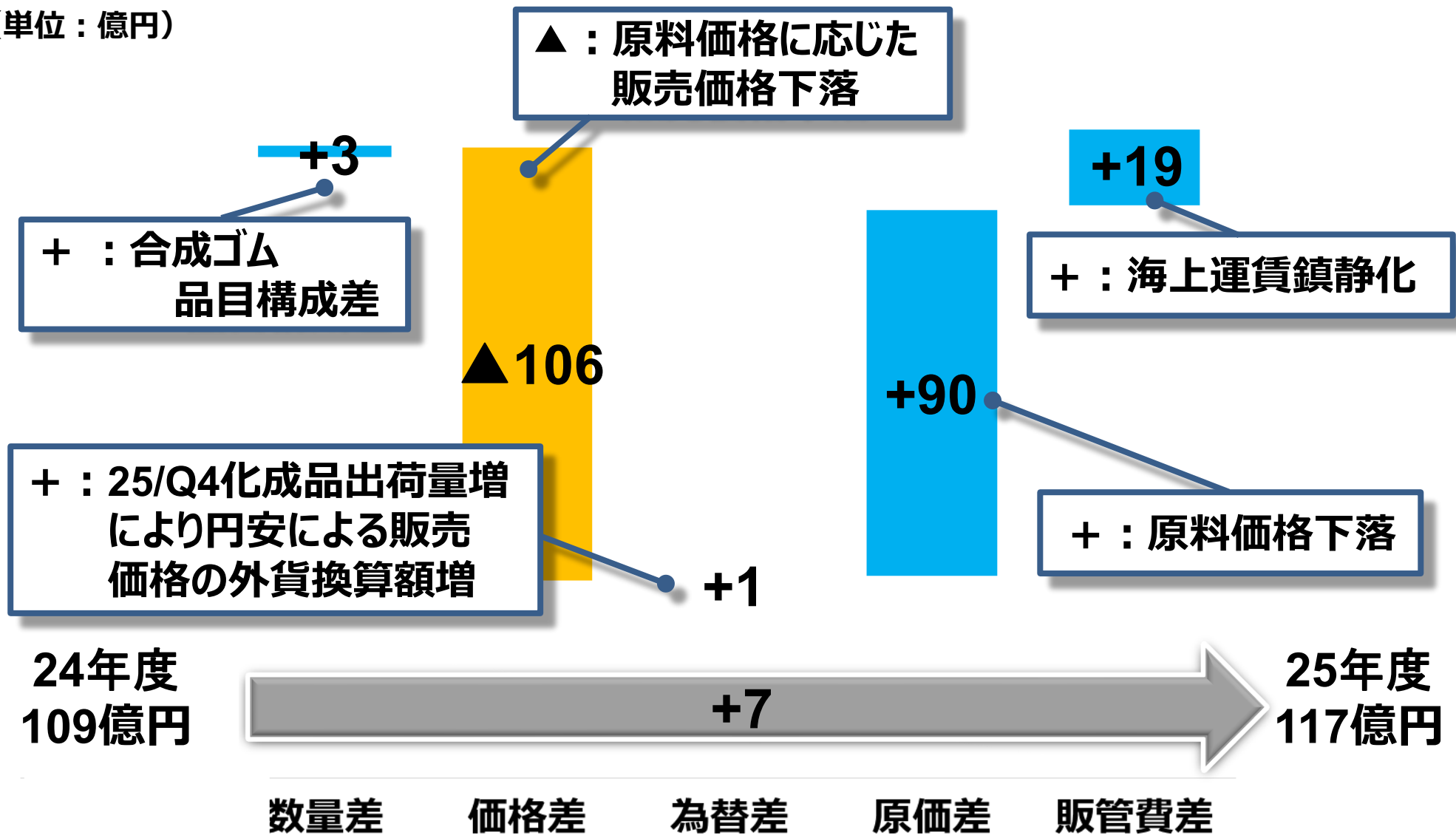
参考：高機能材料事業：要因別 営業利益差異 (YoY) ZEON

(単位：億円)



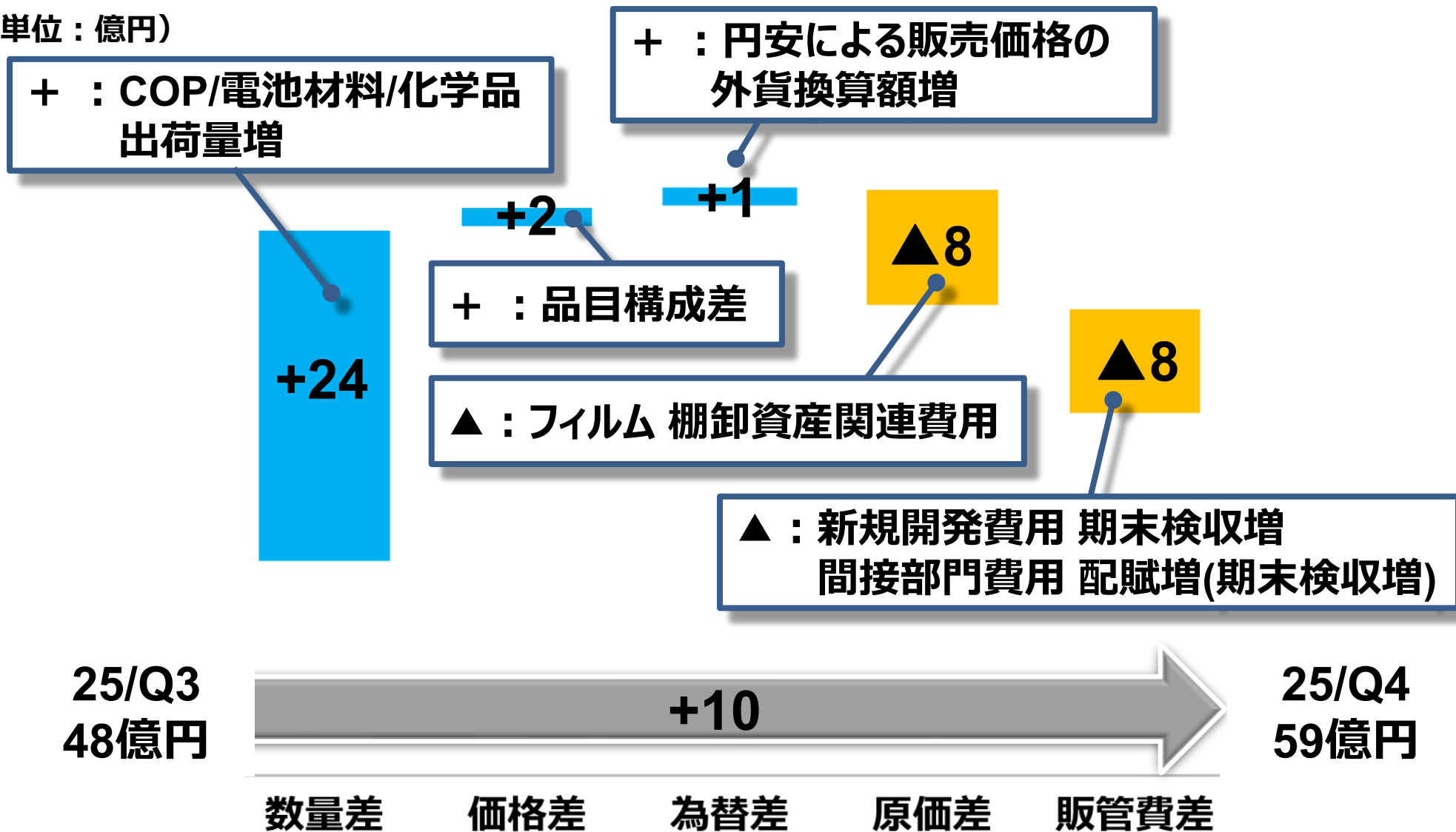
参考：エラストマー素材事業：要因別 営業利益差異 (YoY) ZEON

(単位：億円)



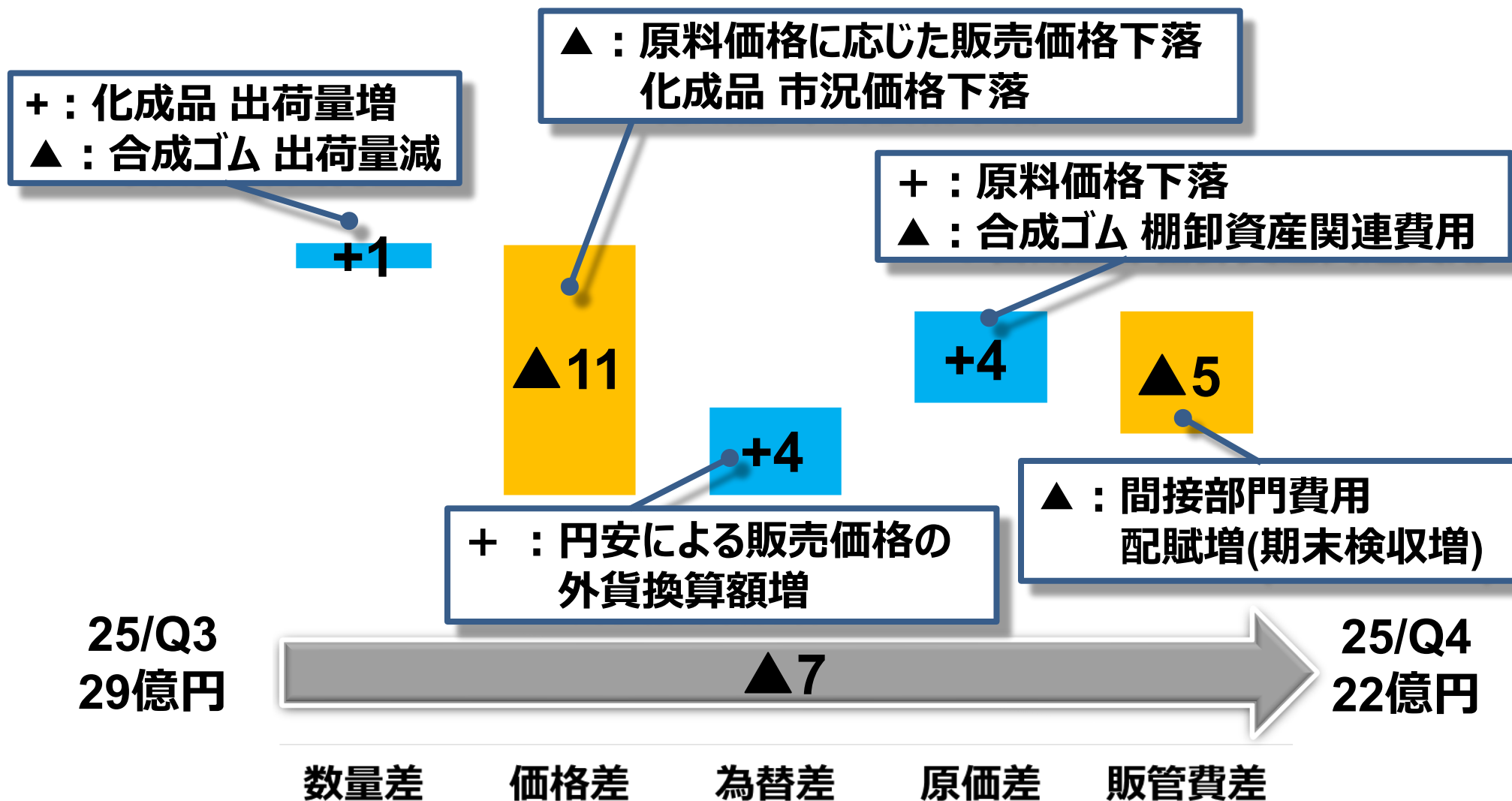
参考：高機能材料事業：要因別 営業利益差異（QoQ） ZEON

(単位：億円)



参考：エラストマー素材事業：要因別 営業利益差異（QoQ） ZEON

(単位：億円)



(単位：億円)

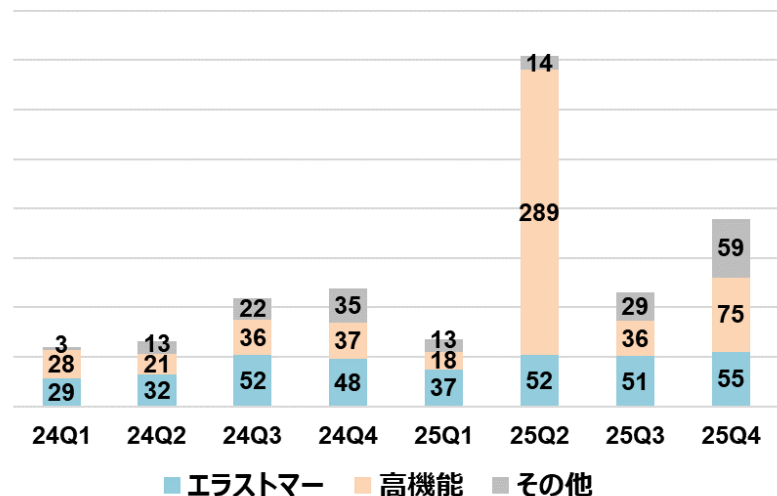
【営業外損益】	2024年度	2025年度	YoY 増減
受取利息・配当金	31	31	+1
為替差損益	11	20	+9
休止資産固定費	▲ 3	▲ 7	▲ 4
貸倒引当金繰入額	▲ 6	▲ 9	▲ 3
寄付金	▲ 3	▲ 2	+1
支払利息	▲ 2	▲ 2	-
その他	9	5	▲ 5
営業外損益合計	37	37	▲ 1

【特別損益】	2024年度	2025年度	YoY 増減
投資有価証券売却損益	83	173	+90
固定資産処分損	▲ 8	▲ 11	▲ 3
投資有価証券評価損	▲ 9	▲ 23	▲ 14
減損損失	▲ 58	▲ 48	+10
その他	▲ 9	1	+10
特別損益合計	▲ 1	93	+94

参考：資本的支出、減価償却費の推移

(単位：億円)

【資本的支出】

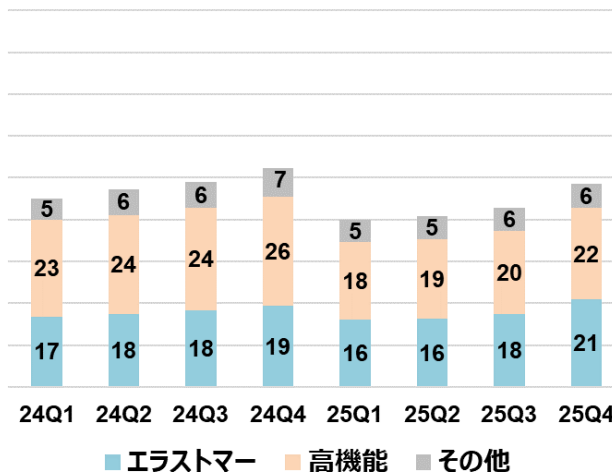


24年度実績
355億円

25年度実績
727億円

26年度予想
560億円

【減価償却費】

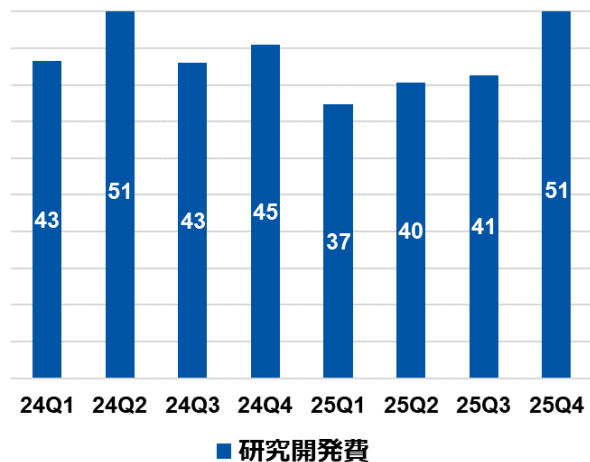


24年度実績
194億円

25年度実績
172億円

26年度予想
200億円

【研究開発費】



24年度実績
182億円

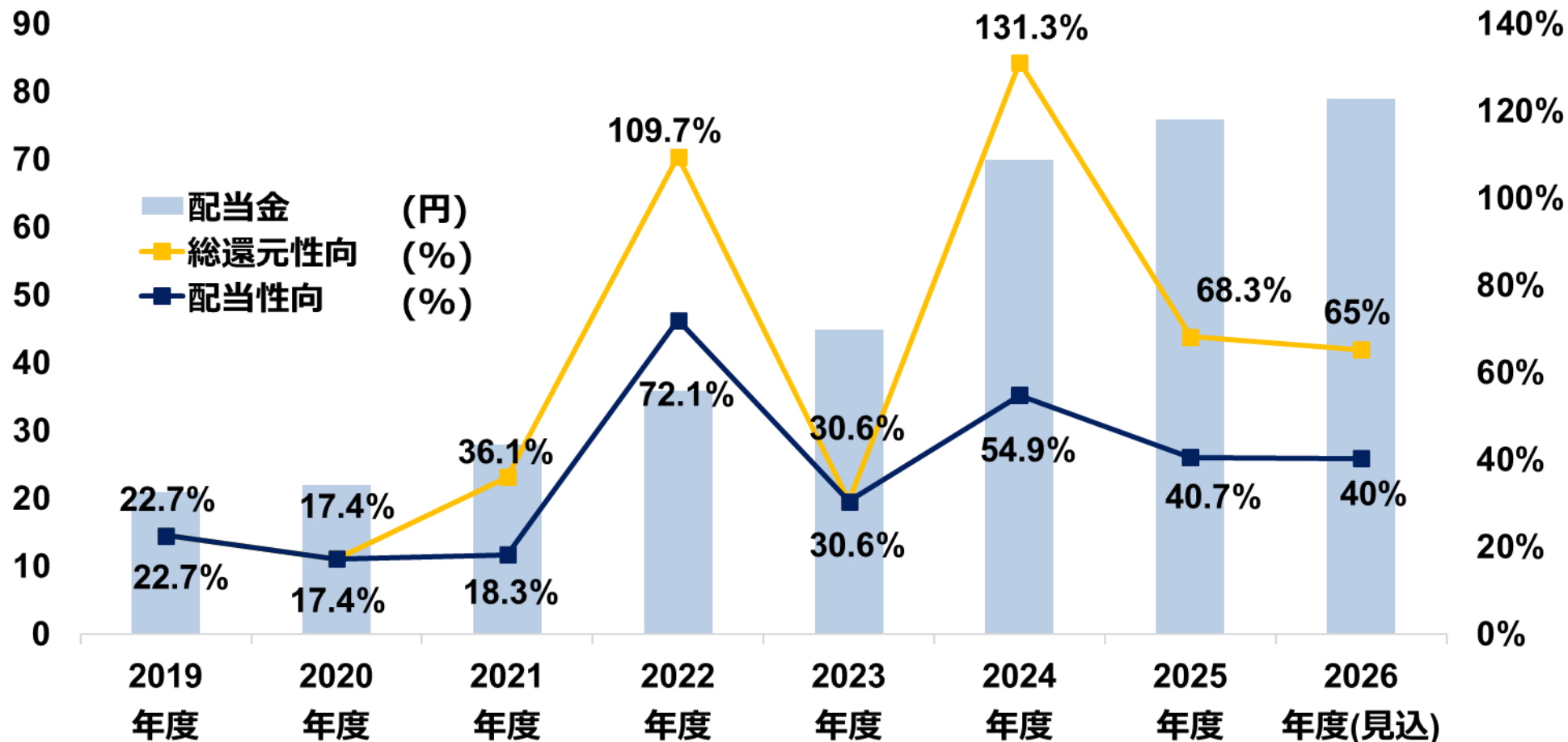
25年度実績
170億円

26年度予想
180億円

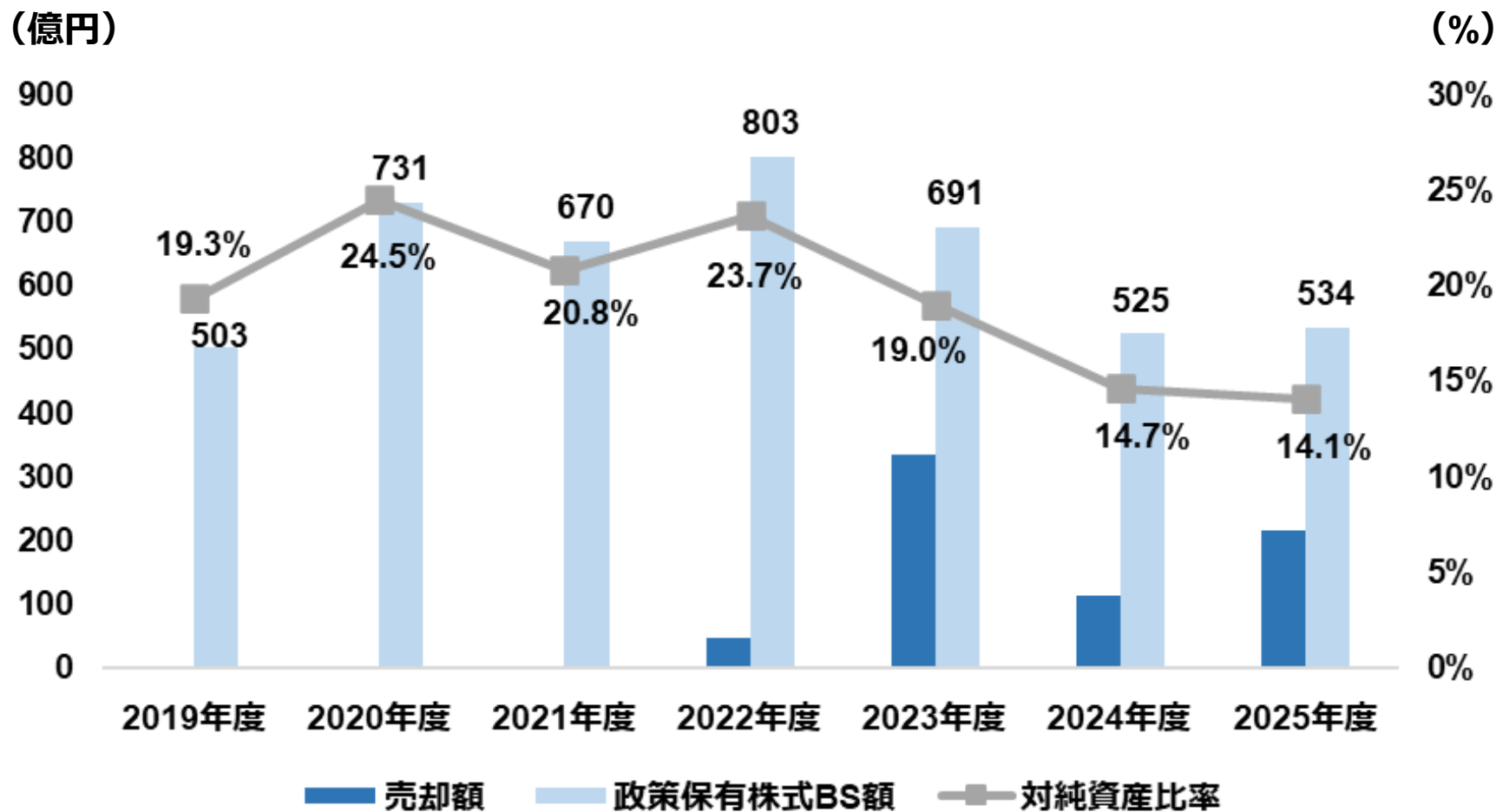
- 2026年度配当性向は40%、総還元性向は65%と高水準を維持する見込
- 直近の配当利回りは3.68%（2026年5月11日終値ベース）

(単位：円)

(単位：%)



- 2025年度末の政策保有株式対純資産比率は14.1%
- 資本効率性向上に向け、今後も継続して縮減を進める
(2026年度末目標：対純資産比率5%未満)



アップサイド

エンドマーケット需要の好調

為替の円安化

市況好調

円安ドル高

景気好況

円安ユーロ高

ダウンサイド

エンドマーケット需要の低迷

為替の円高化

市況低調

円高ドル安

景気後退

円高ユーロ安